

ふかぼり!! アサヒネット道場

事例と事例提供者を応援する。
よってたかって人を幸せにすることを目指す。
明日からの支援に役に立つ。
そんな事例検討に、シフトチェンジしませんか。

野中方式について座学で学び直す特別篇です

道場運営スタッフは、年に数回、札幌市で開催される「コラボ研」に参加することで、定期的に野中方式の事例検討について学び直していました。しかし、コロナのためにコラボ研が中断され、道場も中止が続いたことで、事例検討の感覚が鈍った気がしています。

そこで、今回の道場は特別篇として、野中方式の事例検討を学び直す座学の勉強会として開催します。

意見を求めても反応が悪く、活気がない

事例提供（発表）すると責められてツライ

資料づくりが大変でシンドイ

先輩や専門家の方の意見を聞く場でダンマリ

進行役が流れをコントロールできず、途中から迷宮入りする

事例検討が公開処刑となっている

検討事項を逸れ、脱線したまま止まらず時間だけが過ぎる

義務的、儀礼的集まり

30秒で終わる話にいつも5分はかかる人がいる

どのように着地するのか、皆目見当がつかない

参加者のやる気が削がれる

ふりかえり・フォローアップがない

時間切れで中途半端なまま終了する／大幅に超過する

出なくてイイカナア～

動員、単一指向、トップダウン

「落としどころ」を探す進み方

出会いや発見がない

自分の疑問・意見がなかなか言えなくてモヤモヤ

深みがなく、ハツとするような意見が出ない

「やっぱりダメね」と諦めだけはしっかり合意する

眠い、暗い、前向きでない、聞くだけ、参加者に責任がない

形だけで結論ありき



事例検討に
こんな
ストレス
ありませんか

<参考資料>

平成31年2月16日開催

講義「野中方式による事例検討の展開」

社会福祉法人あむ 相談室にとちーフ 大久保薫氏資料

平成31年3月25日開催

講義「事例検討型スーパービジョンについて」

一般社団法人ソラティオ 代表理事 岡部正文氏資料

とき

令和4年5月19日（木）

午後6時30分～8時30分（120分）

ところ

旭川市市民活動交流センターCoCoDe 作業・打合せ室

（旭川市宮前1条3丁目3番30号）

定員

10名

持ち物

マスク、お好みの消毒用品 ※各自で感染対策をお願いします。

<申込み> NPO法人そーさぼ旭川 ssn.asahikawa@gmail.com